

韓国の東北亞歴史財団HPより抜粋



中国に進出した宣教師をはじめ、西洋人たちも朝鮮の地図を制作した。西洋人が作った最初の朝鮮全図は、フランスの王室地理学者ダンヴィルが制作した「朝鮮王国全図」(1734年)である。この地図は、中国の「皇輿全覽図」をもとに制作され、鬱陵島を「ファンリン島(Fan-ling-tao)」、于山島を「チアンチャン島(Tchian-chan-tao)」と表記している。これは、鬱陵島を礪陵島と、于山島(独島)を「千山島」と誤って読み、これを中国式に発音したものである。しかし、二つの島を共に朝鮮の領土とみなしている。

(注: 同HPの記載から抜粋)